

| 主な内容 | |
|-----------------|-----|
| 一般質問議員と質問項目 | 1 |
| 一般質問から | 2・3 |
| 平成26年度決算審査 | 4 |
| 主な質疑 | 5 |
| 委員会報告 | 3・6 |
| 9月定例会 議案等審議結果一覧 | 6 |



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会
編集
議会広報委員会
事務局
☎0287-88-7114



市制10周年記念式典での記念演目「乗合船」

9月定例会が9月1日(火)に招集され、9月15日(火)までの15日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は6ページに掲載しています。
*なお、議決された議案の内容など、詳しくは「広報那須烏山第121号」をご覧ください。

一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤字になつてゐる項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

久保居 光一郎 議員

- 1 本庁舎整備について
- 2 那須烏山市歴史資料館(仮称)基本計画の概要について
- 3 J R烏山線の利用向上を図るための対策について



中山 五男 議員

- 1 農政問題について
- 2 霞ヶ浦導水事業の反対運動について
- 3 高齢者の地方移住促進策について



平塚 英教 議員

- 1 「医療保険制度改正法」により、国保・医療制度はどうなるか
- 2 マイナンバー制度導入について
- 3 山 鉦、屋台行事の「烏山山あげ行事」のユネスコ登録に向けた対策について
- 4 J R烏山線の利用向上対策と烏山駅周辺整備について
- 5 烏山城の確認調査と活用について
- 6 とちぎの元気な森づくり県民税の活用について



滝口 貴史 議員

- 1 中学校教科書採択について
- 2 携帯電話、スマートフォンの中小学生の取り扱いについて
- 3 AEDと市職員の救命講習について
- 4 2022年栃木国体について
- 5 公共施設再編計画グラウンドデザインについて



高德 正治 議員

- 1 「まちづくりプラン11プラス2」のなかのPFI等活用事業の取り組みについて
- 2 企業誘致の実績と課題について
- 3 「ふれあいの里」事業等の取り組みについて
- 4 「自治基本条例」の整備に向けた取り組みについて



相馬 正典 議員

- 1 J R烏山駅前整備について
- 2 山あげ行事について
- 3 平成28年度以降の予算編成について
- 4 公共施設再編について



小堀 道和 議員

- 1 活気溢れる真の英語ビレッジ構想実現について
- 2 元気に活躍する健康高齢者を増やす健康福祉ポイント付与制度について



渋井 由放 議員

- 1 一般廃棄物について
- 2 公用車の車両事故防止の取組について
- 3 職員駐車場の有料化について
- 4 公共用地の利用について



樋山 隆四郎 議員

- 1 人口問題について



望月 千登勢 議員

- 1 文化資源の活用とまちづくりについて
- 2 (軽度)発達障がいを持つ児童に対する教育の支援について
- 3 ユニバーサルデザインを考慮した歩行者の安全と利便性について



川俣 純子 議員

- 1 山あげ会館について
- 2 防災について
- 3 空き家対策について
- 4 市立保育園、幼稚園の運営について



矢板 清枝 議員

- 1 空き家対策について



議会の動き

平成27年7月

25日〇議会だより第37号発行

〇「山あげ祭」烏山線利用観光客お出迎え

30日〇議員全員協議会

8月

25日〇議会運営委員会

〇議員全員協議会

9月

1日〇第5回定例会

(15日まで)

8日〇各常任委員会

(9日まで)

15日〇議会運営委員会

〇議員全員協議会

10月

1日〇議員全員協議会

〇行財政改革調査特別委員会

13日〇議会広報委員会

〇議員全員協議会

19日〇議会広報委員会

〇議会広報委員会



平成27年9月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。
会議録は市立図書館及び市ホームページで
閲覧できます。

久保居光一郎議員

本庁舎整備について

(問) 市公共施設再編整備計画の中に、本庁舎の整備は最重要課題であり、まちづくりを進めるには核となる庁舎の位置付けを明確化することが必要不可欠である。と記されている。また本庁舎は市民サービスの向上を図ること、有事の際の防災拠点として、更には市職員の職務の効率化や組織としての一体感を醸成する観点からも大変重要な施設である。合併して早や10年、本庁舎の整備は本市が直ちに取るべき1丁目1番地の最重要課題であると思いが市長の所感を伺う。

(答) 本庁舎整備については総合計画前期基本計画の中で平成24年度までに移行する目標を掲げていたが、リーマンショックで先送りした。既存の公共施設を活用した運用は暫定的なものとし、その間に計画的な資金の積み立てを行い、候補地の選定を急ぎたい。



ラッピングされた飼料用稲

中山五男議員

農政問題について

(問) TPPすなわち環太平洋経済連携協定の交渉が最終段階にある。協定妥結ともなれば本市の基幹産業である農畜産業の分野では、輸入品との競合にさらされ崩壊の危機に陥る。そこで、関税撤廃を見据え本市独自の支援案を早急に講ずることが市長の責務でないか。

(答) 畜産農家に対し飼料用稲の購入に助成金を交付している。今後の支援策として、農協と連携した付加価値の高い主食用米の生産や、飼料用米の作付の推進を考えている。更に、将来を見据えた担い手対策等具体的な支援策を検討したい。

霞ヶ浦導水事業の反対運動について

(問) 暫定的な本庁舎を置くと言われるが、庁舎建設は何年後に想定しているのか。

(答) 庁舎建設は一般財源である。基金を積み立てて、合併20周年記念と併せた10年後の整備を検討する。

(問) 那珂川から霞ヶ浦への取水口建設に、本市議会は建設反対の請願書を採択している。

(答) 市長に対し那珂川流域関係6市町による協議会設立を提案したが、いまだ行動されてない。那珂川から深く恩恵を受ける地元市長が、建設反対を漁協に任せ、裁判の成り行きを傍観している良いものか。

平塚英教議員

「山あげ行事」のユネスコ登録に向けた対策について

(問) 全国33団体の山・鉾・屋台行事の一つとして本市の山あげ行事を国連教育科学文化機関(ユネスコ)無形文化遺産への登録を来年11月に期待している本市が、どのような対策や準備を進めているのか伺う。庁内組織と外部団体を含めた本市全体の組織を設置し、登録に向けた対策・準備を進めていただきたい。また山あげ会館の改修については、どのような検討が進められているのか説明いただきたい。

(答) 山あげ行事がユネスコ無形文化遺産に登録され国内外から多くの方々が本市を訪れることを想定し、全庁的な受け入れ体制の構築を図る対応方針を昨年12



龍門の滝付近の案内板

ら10年後の新庁舎建設を目途に検討を進めている。暫定期間はできるだけ狭めながら、現庁舎を活用する。それまで、本庁分散方式で庁舎を使うとなると、未耐震は早急な課題である。未耐震施設には速やかに施策を講じなければならぬ。

(問) 市有施設以外の設置について伺う。

(答) 市で用意したAEDを、各地域の皆様が利用する24時間営業のコンビニエンスストアや郵便局等に置いていただき、万が一の際に御尽力をいただけるような地域サポーター制度の創設を検討していきたい。

滝口貴史議員

公共施設再編計画グラウンドデザインについて

(問) 合併協議の1丁目1番地であった新本庁舎整備の見解を伺う。

(答) 既存公共施設を有効活用した暫定運用を図りながらも、市民の利便性と職員の効率性の向上に向け、本庁方式による一元化を視野に入れた組織の見直しについて調整を進めるとともに、本庁舎整備に関するあり方について検討を進めてまいりたい。10年後の合併20周年を記念すべく、今か



万が一の時に心臓の動きを戻すAED

高徳正治議員

「まちづくりプラン11プラス2」のなかのPFI等活用事業の取り組みについて

(問) 市長の公約で中央公園整備事業、市営住宅整備事業、庁舎整備事業、道の駅事業の4事業はPFIを活用して進めるとの事だが、どのように進めるのか伺う。

(答) 厳しい財政状況や地元住民、関係団体等との協

議、調整期間を考慮すると早期の着手は困難である。これらの事業は、平成30年度にスタートする次期総合計画に委ねる。庁舎整備については、烏山、南那須の両市街地における都市機能の役割分担を検討する過程で、本庁舎の整備のあり方を検討する。

(問) 「自治基本条例」の整備に向けた取り組みについて

(答) 事業計画の策定段階から広く市民の意見を取り入れ、多くの市民にまちづくりに参画してもらうためには、条例制定が必要と考えるが、取り組みについて伺う。

相馬正典議員

平成28年度以降の予算編成について

(問) 今後、人口減少に伴う歳入の減収、さらに社会保障費の増大は明らかである。本市の財政力指数は県下26市町のうち23番目、自主財源比率は最下位で、さらに悪化する懸念がある。今後の施策について伺う。

(答) 財政力指数の低さは、それだけ普通交付税に依存しているということであり、自主財源比率の低さはその要因である地方税収の

小堀道和議員

活気溢れる真の英語ビレッジ構想実現について

(問) 英語ビレッジ構想をまち・ひと・しごと創生事業の目玉として取り組み始めたが、無料の英会話教室になっている。山あげ行事のユネスコ無形文化遺産登録を契機に、外国のお客様



市民向け英語塾の様子

が増える。中高生や市民による英語ガイド役を育て、本市のファンになる外国人を増やし、家族的付き合いに発展するような英語村にしたい。活動に参加する中高生や市民が生き生きと輝き、まちの活性化に大きく寄与する事業計画にすべきと考えるがどうか。

(答) 今後そのような活動方針に向けて明確に政策をつくっていききたい。

(問) 国の予算が付かなくとも継続すべきと思うがどうか。

(答) 地方創生先行型交付金の対象にならなくとも、市単独の事業として継続していきたい。

元気に活躍する健康高齢者を増やす健康福祉ポイント付与制度について

(問) 少子高齢化が進み介護福祉関係費用増大の対策が急務である。自分の健康寿命を延ばす活動や介護が必要になった方への支援活動を共に加速させる本市独自のポイント付与制度を導入すべきと考えるがどうか。

(答) 先進事例を参考に事業の効果など調査研究する。

渋井 由放 議員

ごみの減量化について

(問) 布類はひもで十字に縛り月1回収集している。この布類はリサイクルされず鹿沼市の民間焼却施設に処理を委託している。他の市町の中には資源物として収集し、売却しているところがある。同様な取り組みを行うことができないか伺う。



南那須地区広域行政事務組合保健衛生センター

(答) 布類の資源物としての活用は、南那須地区広域行政事務組合保健衛生センターが地元業者と調整をしたが、実施には至らなかった。

(問) 宇都宮市、鹿沼市はトン当たり幾らで業者さんは買ってくれているのか。

(答) 宇都宮市はトン千円、鹿沼市はトン1万円である。

(問) 当市はトン幾らで処理を委託しているのか。

(答) トン当たり3万7千円と聞いている。

(問) 当市は貧乏であるため、売れるものがあつたら売れるものをわざわざ燃やすことはない。市長には、広域行政事務組合へしつかり言ってもらいたいと思うが。

(答) 広域行政事務組合環境部会に検討するよう指示をする。

樋山隆四郎 議員

人口問題について

(問) 人口減少が本市の将来に与える影響について伺う。

(答) 本市では、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき国が策定した日本全体の

人口の将来展望を示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及びそれを踏まえた今後5カ年の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しながら、人口減少の深刻な状況と今後のあり方について、市民の皆様方と共有を図りながら、長期的かつ総合的視点から有効な施策を実施するため「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定に取り組んでいる。これらの策定の過程の中で、人口の変化が地域の将来に与える影響について地域経済、市の財政、地域コミュニティ、空き家・犯罪等の社会面、交通インフラ、公共的機関の6つの視点から分析及び考察を行っている。

今後は7月末に発表した人口ビジョン骨子案を踏まえ、アンケート調査、地域経済システムを活用し、限りある中で効果的な人口対策に取り組むために、中期財政計画を設定し地方版総合戦略の策定に取り組んでいく。

望月千登勢 議員

(軽度) 発達障がい児童に対する教育の支援について

(問) 文部科学省から、全国の義務教育の現場において発達障がいの可能性のある児童は全児童生徒数の6・5%程度の在籍数と調査結果が発表された。市の現況と児童に対する支援状況を伺う。

(答) 本市において平成26年度に特別な教育支援を要

する児童生徒に関する調査を実施した。その結果、多くの児童生徒に支援が必要であると回答が得られた。5年前よりすこやか推進室を設置し、年間数百件に及ぶ相談等に対し専門知識を有する職員による支援教育・相談業務の充実に努めている。



すこやか推進室の心理士等による相談風景

(問) 多様な児童に対する学校・地域・家庭との連携における学校外での取り組みを伺う。

(答) 昨年度より学校内に配置した地域連携教員により、学校と地域が連携した教育活動を効果的・効率的に進め、地域人材を活用した授業の展開・地域資源や文化を学ぶことで地域を愛する心の育成に努めている。更に、青少年健全育成を推進するための組織である、「那須烏山市青少年を育てる会」等各地域・団体等に働きかけ、地域で子供を育てるといった観点からの組織づくりを進めていきたい。

川俣純子 議員

市立保育園、幼稚園の運営について

(問) 市立保育園、幼稚園の民営化、民間委託、臨時職員の削減計画はあるのか。

(答) 公立保育園等運営検討委員会においては段階的に民営化を図っていく方向性を示していた。その後の子ども・子育て関連の法改正による制度の変化を受け、保育施設の定員の需給調整を図ることを目的とした「子ども・子育て支援事業計画すくすく子どもプラン」を本年3月に策定した。保育園の民営化や臨時職員の削減計画については、検討委員会の示した方向性を尊重しつつ、先のプランに位置づく計画において民間の意向を配慮し、需要と供給のバランスを図りながら検討していきたい。



市内の公立保育園

対応すべきと考える。

矢板清枝 議員

空き家対策について

(問) 本市でも空き家が年々増え続けている。放置され荒廃した家屋の安全対策について伺う。

(答) 空き家対策特別措置法がことしの5月26日に施行された。空き家の中でも、倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある特定空き家は、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしており、その除去や適正管理が今後の課題。昨年度の調査の結果、市内の空き家の戸数は総数375戸。荒廃した家屋の安全対策については、直近の事例として、強風による突風が原因で屋根の一部がまき上がり近隣の家屋に危険を及ぼすおそれがあるため固定資産台帳から所有者を特定し対応したことがあった。注意喚起を促すために今後も空き家の所有者特定に全力をあげることが、それでも所有者が特定できない場合には、国から示されたガイドラインに沿った内容に基づき適切な処置を講じていく。

(問) 市独自の支援制度について伺う。

(答) 空き家等の所在及び状態の把握、並びに所有者の特定を速やかに進めつつ関係部局の連携、相談体制の整備等、特措法の実施体制の整備を確立していく中で、有効な市独自の支援策ができないか調査研究をしていく。

JR烏山線利用促進対策特別委員会

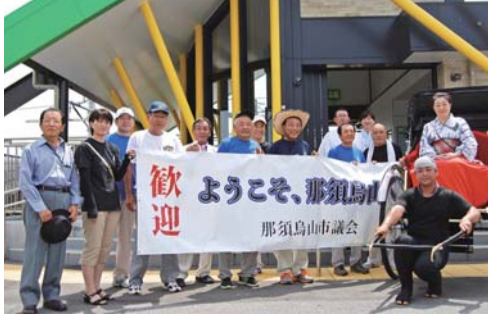
活動報告

7月25日ミストの冷気が心地よい烏山駅前、当委員会の取り組みとして市議会議員が集合。特別に人力車も登場し華やかさを演出していた。烏山線を利用していたお客様を歓迎する「お出迎え」を盛大に行うことができました。

10時57分着の蓄電池駆動電車「アキユム」が満員の乗客を乗せて到着。出席議員全員で横断幕を掲げ笑顔での歓迎、昨年は運賃の精算にかなりの時間を要しましたが本年は大勢のJR職員に対応により15分程度で済みました。

平成28年に山あげ行事のユニスコ無形文化遺産登録をめざし、市では烏山駅前整備に着手しましたが更にJR烏山線利用向上を図るため烏山線沿線にひまわり、の植栽、ボランティア活動による桜の植樹などにも取り組んでいます。

委員長 高田 悦男



山あげ祭での観光客のお出迎え

平成26年度 決算審査

平成26年度一般会計、7特別会計、水道事業会計の決算については、所管の常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。ここでは、各常任委員会の審査の中で出された意見等、本会議において報告された内容を掲載します。

総務企画常任委員会

◎所管する課等
総合政策課、総務課、税務課、会計課、議事事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会

総合政策課

○デマンド交通の拡充を進めることにより、市内循環バスの減便と経費削減に努められた。またスクールバスを市内循環バスとして供用できるシステムも視野に入れて取り組まれた。

○各課を横断的に統括する所管であることの意識をさらに高め、本市の現状や長期的展望を踏まえた具体的計画実現のために、時には苦言・進言も辞さずとの決意を持って、さらに職務に努められた。

総務課

○公用車事故が後を絶たないことは憂慮すべきことである。これまでの事故の要因や状況を分析するとともに、事故防止のための具体的対策を図られた。

○市民に不公平感を生じられることがないように、滞納者には口座だけで



貯水槽の看板

なく物品等の差し押さえも辞さずとの決意をもって、なお一層の努力をされたい。

病予防に努めるとともに、医療費の削減、介護給付の抑制に効果が得られるようさらなる努力をされたい。

◎常任委員会の調査・研究を図るとともに、基金の一括運用等も視野に入れ、安全かつ有利な資金運営に努められた。

◎今後のICT活用については、議員のニーズや他の自治体の活用事例等の調査・研究をおこない、その必要性を見極め、導入について検討されたい。

◎地理空間情報システムやホームページ等を活用し、公有財産の売却をさらに図られた。

◎消防水利標識及びその他の標識・看板等の整備にあつては、見やすさ・わかりやすさに配慮し、その用途別に同一寸法・同一デザイン化を図り、ひいては市の景観美化に繋がるよう努められた。

◎診療所は疾病等の診療行為にとどまることなく、地域との交流を積極的に行い、地域住民の健康増進維持の推進をはかり、信頼関係をより一層深めるよう努力された。

◎ふれあいの里事業は、高齢者の生きがい、地域との交流の場となっており、効果をあげている。今後とも介護給付の抑制、地域の見守り・支えあい体制の強化につな

◎健康づくり事業では、市民の健康維持、生活習慣

◎市民に不公平感を生じられることがないように、滞納者には口座だけで

文教福祉常任委員会

◎所管する課等
市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課、文化振興課

◎鳥山放課後児童クラブは未耐震であることも館の使用の危険性を以前から指摘しているところであるが、関係機関との調整が進まず実施会場を変更できない状態が続いている。子どもたちの安心、安全を第一に考え、早急に対処されたい。

◎収入未済の保育料の滞納繰越額は縮小傾向にはあるが、依然として多額の未納がある。滞納整理に重点を置き、さらなる収納対策を推進されたい。

◎旧南那須武道館は現在も毎年地代の負担が発生している。速やかに解体し、跡地の活用についてはスピード感を持ちつつも、後年度に支障を残さないよう慎重に検討されたい。

◎若者の交流を目的としたふれあい交流事業は一定の成果があり、期待で



鳥山放課後児童クラブ

きる事業である。今後メディア、事業所及び関係団体等と連携し、市の人口減抑制に効果をあげられるよう努力されたい。

◎「鳥山の山あげ行事」のユネスコ無形文化遺産登録に向け、引続き全庁体制のもと、効率的かつ効果的な事業を推進するとともに、当該行事の安定した開催に向け、関係団体等との調整、連携等を図られた。

◎空き家バンクについては、新制度移行後はさらに実績もあがっていると

◎空き家は、活性化の起爆剤となる可能性を秘めているものの、活用されなければ安心安全の面で不安材料となってしまうなど、間口の広い行政課題である。空き家の有効活用に向け全庁をあげて取り組まされたい。

◎特産品開発・六次産業化については、多くの費用や労力をつぎ込んでい

◎特産品開発・六次産業化については、多くの費用や労力をつぎ込んでい

る成果が現れてこない。販路の開拓が最重要課題であるが、同時に安定供給できる体制の構築が不可欠である。市、農協、農業者はもちろん、商工業者、商工会、観光協会等も含めオール那須烏山体制で生き残りかけ本腰を入れ取り組まれた。

◎農業を取り巻く環境が大きく変化する中で、農業従事者の高齢化、後継者不足、農地整備に伴う水利費等の負担増など市の農業には多くの課題が山積している。しかし、大桶での営農集団の法人化などの明るい材料は、難局を乗り切るヒントになりうると考え

◎これらを足がかりとし、関係機関と連携し、市の基幹産業たる農業を守り、育てるための指針となる活きた地域農業ビジョンを策定されたい。

◎ここ数年、市内河川の鮎が不漁であるが、鮎は本市の大切な観光資源の一つであり、交流人口獲得のための有効なツールとなるものである。市としても積極的に関与し早急に対策を施されたい。

◎新たに整備された大金駅前観光交流施設への案内看板等の整備が十分である。十分な周知、PRを行い駅前活性化

◎新たに整備された大金駅前観光交流施設への案内看板等の整備が十分である。十分な周知、PRを行い駅前活性化



大金駅前観光交流施設ナスカラ市場

の核として活用されたい。なお、ユネスコ無形文化遺産登録に向け鳥山駅前整備が予定されているところであるが、拙速に進めることなく、地域の関係者の声を聞き、真に必要な整備が行えるよう十分時間をかけて進められたい。駅前活性化の鍵は地域の関係者にある。各種イベント時など、駅前にも多くの人が予想される際は地元商店等に協力を求め、その都度仕掛けを演じ、活気ある駅前空間を演出されるよう努力されたい。

◎ごみ収集に際しては、市民の理解と協力を得た上で徹底した分別を行い、資源になりうるものをリサイクルすることで減量化を図り、地球環境の保全や環境衛生費の圧縮に繋げられたい。

◎市営住宅使用料について、滞納繰越分を含め金額が納付されたことは大変素晴らしいことである。引き続きこの状態

◎市営住宅使用料について、滞納繰越分を含め金額が納付されたことは大変素晴らしいことである。引き続きこの状態

9月定例会の本会議日程と傍聴者数

| 月 日 | 内 容 | 傍聴者数 |
|----------|-------------|------|
| 9月 1日(火) | 開会・上程・採決・付託 | 4人 |
| 9月 2日(水) | 一般質問 | 15人 |
| 9月 3日(木) | 一般質問 | 27人 |
| 9月 4日(金) | 一般質問 | 15人 |
| 9月 7日(月) | 決算総括質疑 | 2人 |
| 9月15日(火) | 上程・報告・採決・閉会 | 2人 |
| 計 | | 65人 |

が維持できるような努力がしたい。
 ○厳しい財政状況の中、必要な建設事業を少ない自主財源の持ち出しで展開できるような有利な補助メニューを上手に活用されたい。

上下水道課

○有収率が再び低下に転じたことは大変残念である。施設の老朽化など抜本的な問題もあり、簡単に引き上げられるものではないことは理解しているが、県平均と比較しても相当低い値である。現状から脱せられるよう努力されたい。

○烏山地区の下水道の接続率が依然として極めて低位であるが、臨戸訪問や各種啓発活動など地道な取組をされていることは評価する。劇的な改善を見込むことは難しい状況ではあるが、引き続き接続率向上に向けて粘り強く取り組まれない。

主な質疑

9月定例会での、議員質疑の中から主なものを要約して掲載しています。
 会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。

農業公社の経営状況説明書の提出について

議員 公社直営の受委託事業は、受け入れに余裕があるのか。

答弁 人数の制限、機械の老朽化などにより、規模的には現在手いっぱいである。

個人情報保護条例の一部改正について

議員 番号を管理する基幹システムと、インターネットにつながる情報システムとの分離がなされているか。

答弁 基幹システムと情報システムは分離されている。

議員 情報漏れ対策を講じているか。

答弁 ウイルス対策ソフト等、セキュリティ対策は万全を期している。本格的な運用に向け、情報セキュリティ推進班会議等により一層強化していく。

平成27年度一般会計補正予算(第2号)について

議員 防犯カメラが設置されるが、どこに何カ所くらい設置するのか。
 答弁 全部で9カ所である。校門近くなど学校から要望のあったところや、大桶運動公園など市民から要望のあったところに設置する。



防犯カメラの設置が予定されている大桶運動公園

議員 武道館施設整備は設

計業者からプレゼンテーションが終わって決定された。どのような計画になっているのか。
 答弁 武道館本体は、木造で、剣道場2面、柔道場1面の3面を予定しており、一部観覧席及び会議室が中2階で995平方メートル程度のもので進めている。

議員 旭通り線の道路台帳はいつごろまでに整備されるのか。
 答弁 平成29年4月に国道294号と市道とが移管予定であり、それまでに道路台帳を整備しておく必要がある。

議員 浄化槽の設置事業の内容について伺う。
 答弁 5人槽12基、7人槽20基、10人槽2基の計34基で、単独浄化槽撤去補助金は25基分を計上した。

議員 ここに保育園運営費、七合保育園運営費はどのような内容なのか。
 議員 デマンド交通の現在の効果について伺う。
 答弁 烏山地区は平成26年10月から、南那須地区は

平成26年度決算に関する総括質疑

議員 図書館関係費用合計7400万円が報告されている。各学校の図書館との連携も含めた、これからの再編計画を伺う。

平成24年10月から実施している。平成24年度は1日当たり15人、25年度は22・9人、26年度は27・7人である。利用者が増えていくと大変効果がある。

議員 烏山高等学校補助金について、市町村別の実績人数を伺う。
 答弁 那須烏山市3名、さくら市19名、高根沢町25名、矢板市2名、塩谷町1名、那珂川町24名、大田原市1名、益子町1名、市貝町7名、茂木町2名、常陸大宮市2名である。

議員 文化財保護団体活動支援事業費は、補助金が2万5千円、7万円、660万円になっている。この価格差について伺う。また人口減少の中、保存、維持の取り組みについても伺う。
 答弁 無形民俗文化財等保存伝承費補助金に基づく市の指定文化財は2万5千円、国選択の文化財は7万円、該当はないが県指定文化財は5万円である。660万円は山あげ行事保存伝承費補助金。また、10万円以上の用具類の傷み等については、補助率2分の1で200万円を限度とした補助規定を設けている。

議員 スケアードストレート交通安全教室が昨年の11月に荒川中学校で実施された。この内容と今後、他校での実施予定について伺う。
 答弁 スタントマンによる事故の再現を通して交通ルールの大切さを学んでもらうもので、県警とJ.Aとの連携事業である。実施に向けて今後も要望していく。

議員 電子黒板は、どの辺まで設置がされているのか。また、どのように活用しているのか。
 答弁 小学校23台、中学校13台で最低2クラスに1台が配置されている。社会科、理科、算数のデジタル教科書等を導入し使用している。



交通安全教室での事故再現の様子(荒川中学校)

議員 中央公園は、2・4畝あるが道路等の整備で1・8畝になると想定している。烏山市街地の一等地であり、みなさんの意見を聞きながら計画を策定する。

議員 地産の和牛、中山かぼちゃの学校給食への提供実績を伺う。
 答弁 牛肉を2回、中山かぼちゃのペーストを3回実施している。中山かぼちゃのペーストを増やす方針である。

議員 コンビニ収納が始まり4年目に入るが収納効果は出ているか。
 答弁 コンビニでの収納額は増えている。納税環境をより充実させるため、再発行納付書についても来年度からは利用できるように進めている。

議員 烏山中央公園のプール解体による跡地の利用計画について伺う。
 答弁 中央公園は、2・4畝あるが道路等の整備で1・8畝になると想定している。烏山市街地の一等地であり、みなさんの意見を聞きながら計画を策定する。



中山かぼちゃのスープ(学校給食)

9月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)

| 議案等 | | 審議結果 | 議案等 | | 審議結果 |
|--------|---|------|---------|-----------------------------|------|
| 議案第9号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 可決 | 議案第12号 | 平成26年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について | 可決 |
| 議案第2号 | 平成27年度介護保険特別会計補正予算(第1号)について | 可決 | 追加議案第1号 | 教育委員会委員の任命同意について | 同意 |
| 議案第3号 | 平成27年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)について | 可決 | 議案第6号 | 工場立地法準則条例の制定について | 可決 |
| 議案第4号 | 平成27年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について | 可決 | 認定第3号 | 平成26年度熊田診療所特別会計決算の認定について | 認定 |
| 議案第5号 | 平成27年度水道事業会計補正予算(第2号)について | 可決 | 認定第6号 | 平成26年度農業集落排水事業特別会計決算の認定について | 認定 |
| 議案第10号 | 栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合理約の変更について | 可決 | 認定第7号 | 平成26年度下水道事業特別会計決算の認定について | 認定 |
| 議案第11号 | 損害賠償の額の決定及び和解について | 可決 | 認定第8号 | 平成26年度簡易水道事業特別会計決算の認定について | 認定 |
| | | | 認定第9号 | 平成26年度水道事業会計決算の認定について | 認定 |

(起立による採決)

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席

| 議案等 | 審議結果 | 議員別賛否一覧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------------|---------|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| | | 相馬 | 小堀 | 滝口 | 矢板 | 望月 | 田島 | 川俣 | 洪井 | 久保居 | 渡辺 | 高德 | 佐藤 | 沼田 | 樋山 | 中山 | 高田 | 小森 | 平塚 | |
| 議案第7号 | 個人情報保護条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第8号 | 手数料条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第1号 | 平成27年度一般会計補正予算(第2号)について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第1号 | 平成26年度一般会計決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第2号 | 平成26年度国民健康保険特別会計決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第4号 | 平成26年度後期高齢者医療特別会計決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第5号 | 平成26年度介護保険特別会計決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※掲載は採決順で、議長(佐藤議員)は表決に加わらない。 ※議案第6号、認定第1号～第9号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

12月定例議会は、11月24日(火)開会予定です。

※正式な日程は11月17日に開催される議会運営委員会で決定されます。



南那須特別支援学校を視察

「特別支援学校の「設置基準策定」を国に求める陳情」を受け、7月6日に市内3校の視察研修を行いました。南那須特別支援学校は知的障がい者を教育する小・中・高等部があります。児童生徒の増加に伴い、作業学習等で使用していた特別教室を普通クラスとして使用してまいりました。荒川小学校には、知的と情緒計4クラスの特別支援学級がありました。少子化の中このような児童生徒の増加は見逃せず、行政と学校が一体となり対策をしなければなりません。新生南那須中学校では電子黒板を使った授業やALTと英語教諭の授業も見学できました。おおむね無事に出港したようです。本市の教育行政に対する支援はまだ不足しているかもしれない。同世代の子どもを持つ親として、注視していかねばならないと感じた視察でした。副委員長 滝口 貴史

文教福祉常任委員会 研修報告

全国市議会議長会より、平塚英教議員が議員在職20年、佐藤昇市議長と高徳正治議員が議員在職10年の表彰を受けました。また、昨年度評議員を務められた佐藤昇市議長に感謝状が贈られました。

9月定例会において審査された請願・陳情

| 番号 | 件名 | 紹介議員 | 審査結果 |
|--------|----------------------------|------|------|
| 陳情書第2号 | 「国の責任による35人以下学級の前進」をもとめる陳情 | | 不採択 |
| 陳情書第4号 | 特別支援学校の「設置基準」策定を国に求める陳情 | | 不採択 |
| 陳情書第7号 | 市道月次南大和久線歩道整備(大和久地内)について | | 採択 |
| 陳情書第8号 | 安全保障法制法案に関する意見書採択を求める陳情書 | | 不採択 |

表彰

今年度、本市にお住まいで100歳を迎えた方は26名と伺いました。長生きの秘訣は何か。個人差もあり、様々な考え方がありますが、一般的に、心の持ち方が大きく関係しているといわれています。まず、くよくよしないで今日という一日を楽しく過ごすこと。ユーモア、笑いを忘れないこと。ヨーロッパには愉快な心はお医者さんという古い言葉があるそうです。そして、目標を持って生きること。何らかの仕事、使命に励むこと。とされています。ノーベル平和賞を受賞したシュヴァイツァー博士は、「私は、仕事ができるうちは死ぬつもりはない。仕事をしているかぎり、何も死ぬ必要はない。だから私は長生きするよ。」と語っていたそうです。事実、90歳を超えて生きぬきました。自分には成すべき使命がある。使命ある限り生き、生きる為に健康に気を遣う。

あしがき

私も現在半世紀生きてきました。今年度100歳を迎えた方々を見習って人生を楽しみ、目標をもって生きる。その為に健康でいる。そんな人生を歩みたい。皆様も元気に頑張りましょう。(矢板清枝議員)

